

授業科目名 <英訳>	現代史学(特殊講義) Contemporary History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 伊藤 順二					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 前期	曜時限	月2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	末期ロシア帝国と南カフカス										
【授業の概要・目的】											
<p>19世紀後半から第一次世界大戦までのロシア帝国の南カフカスにおける植民地政策と現地住民の活動を概観する。</p> <p>南カフカスはロシア帝国初の本格的植民地であり、オスマン帝国との最前線の一つだった。住民に対する民族学的視線は帝国の統治政策に直結すると同時に、「高貴な野蛮人」への文学的憧憬をも産み出し、それはグルジア人などの現地住民にもフィードバックされた。バクーの油田は帝国の重要な資源となると同時に、労働運動や民族運動や宗教的改革運動を隆盛させ、多国籍企業を誘致し、ロシア・コスミズムの進展にも大きな影響を与えた。本講義では南カフカスという場がもつ歴史的意義を考えることで、ロシア帝国に対する総合的理解にも道を拓きたい。</p>											
【到達目標】											
ロシア帝国に関する基本的知識を習得し、帝国についての歴史的イメージを会得する。											
【授業計画と内容】											
第1回：イントロダクション 第2,3回：「半アジア人」 第4,5回：帝国統治と学問 第6,7回：戦争と現地動員 第8,9回：文字と言語と宗教をめぐって 第10,11回：石油資源と労働運動 第12,13回：黒海沿岸の正教改革運動 第14回：ロシア・コスミズムとカフカス 第15回：おわりに											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
期末レポート(80点)および中間レポート(20点)による。											
【教科書】											
プリントを配布する。											
【参考書等】											
(参考書) 授業中に紹介する											
----- 現代史学(特殊講義)(2)へ続く -----											

現代史学(特殊講義)(2)

---

[授業外学習（予習・復習）等]

各自、授業中に紹介する基本文献を読んでおくことが望ましい。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーは、月曜3限とする。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。